

式の値すごろく

単 元	文字の式	対象学年	1 年
ね ら い	グループで級友と楽しみながら式の値を求める問題の反復練習を行うことができる。		

1 準備するもの

教師： ワークシート， トランプなどの数値を示す物， 駒

2 学習のしかた

(1) ルールを確認する。

- ・ トランプはスペード(黒)のAは1， 2は2， 3は3，
ハート(赤)のAは-1， 2は-2， 3は-3として行う。
- ・ 早くゴールに止まれた人が勝ち。

(2) スタート地点に自分の駒（消しゴムなどで代用可）を置き， トランプをひいて出た数だけ動かす。

(3) 自分の番が回ってきたらトランプをひき， その数を今止まっているマスに書かれた式の x に代入し， 式の値の分だけ駒を動かす。

3 学習上の留意点

- ・ 式の値を答えてグループの仲間に正しいかどうかを確認する。正しければその値だけ進み， 間違えたらスタートに戻る， などとする。間違えたり分からなかったりする場合は， 必ず学び合いをさせる。
- ・ 式を工夫して， さいころを使ったり， 数の大きいトランプを使ったりして， いろいろな数を代入する練習ができるようにしてもよい。
- ・ 式を変える場合は， 式の値が整数になるように気をつける。特に， 分数が含まれる式に注意する。ゴールできる式を必ず用意する。

4 学習の効果

- ・ 繰り返し計算練習をすることで， 式の値の求め方を定着させることができる。
- ・ 特に， 2人組ですごろくを行うと「この式ならマイナスの数字を出して」， 「マイナスでも一番小さい数にして」などの言葉を耳にするようになり， 負の数の計算の仕組みを定着させることができる。
- ・ ゴールまでの残りのマスの数になるには， いくつを出せばゴールできるかを考えることで， 次の単元である方程式の解き方を考えることにつなげることができる。

式の値すごろく

$-4x+4$	$\frac{6}{x}+3$	$-2x$	$-x-10$	スタートへ もどる
$3x+1$				
$x-2$	ゴール	x^2	$-x^2+6$	$-2x+5$
				$-2x^2$
スタートへ もどる	$2x^2$	$-x^2$	$3x+4$	$-x+2$
$-\frac{12}{x}+1$				
$-x+3$	$-\frac{12}{x}+3$	x^2+x	$8x$	もう1回! $-x+1$
				$x-9$
$(-x)^2$	$-x+4$	$4x$	$-4x-7$	$-3x+10$
x^2-x				
$-x-1$	$-x+8$	$-8x$	スタート	$x-5$
				x^2
スタートへ もどる	x^3	$-5x+2$	$x-3$	$-\frac{6}{x}$